

むつ市立第一田名部小学校「ユメココ教室」で大工の仕事を紹介しました

令和3年7月2日(金)むつ市立第一田名部小学校の4年生が将来の夢について勉強する「ユメココ教室」に講師として行ってきました。当校はものづくりをとおして大工の仕事について説明し、木造建築科の2年生が作業のサポート役として児童のみなさんには、かなん掛け、のこびき、釘打ち体験を兼ねてベンチ作りを体験してもらいました。



今回参加した「ユメココ教室」は、子どもたちがふるさとに愛着を持ち、社会的・職業的に自立していくために、学校・家庭・地域が連携してキャリア教育に取り組んでいくことが求められており、地域の様々な職業の方が自分の仕事への思いや苦勞、やりがいなどについて自分の仕事の内容を語る「ユメココと〜く」や体験を通して、子どもたちが生きること・働くことについて考えるきっかけづくりのために開催されているということであり、大工職種の他に自衛官、警察官、消防士、看護師、保育士、ダイニングバーのシェフの方などが講師として参加していました。



図工室の大工のブースには大工の仕事に関心のある児童が集まり、初めて触るカンナや電動工具の使い方について真剣な眼差しで説明を聞いた後、実際にカンナのこぎりを手にして、ものづくりにチャレンジしてもらいました。はじめは緊張していたようですが、カンナ掛け体験で材料のヒバを削ったりベンチの製作をしていくうちに緊張も解け、カンナくずの長さを友達と競争したり、ベンチの部材を友達と協力して取り付けている真剣な顔がとても印象的でした。



大工を体験した児童のみなさんから
手紙をいただきました！



ぼくはノコギリが楽しかったです。なぜならきれいに切れたからです。かなんも楽しかったです。(高橋 北斗)

私はかなん掛けがとても楽しく心に残りました。かなんくずは、ずっとかいていたくらい、いい匂いがあるので家に持ち帰り記念にしました。かなん掛けなど楽しい体験をさせてくださり、ありがとうございます。(青柳 絢菜)

先日はユメココ教室でたいへんお世話になりました。体験でメゾンさんにノコギリの使い方を教わりました。とても分かりやすかったです。(村山 こはく)

ぼくは木を切って楽しかったです。大工の仕事をやってみて分かったことは、木にかなんを掛けると木が割れて表面がツルツルになるということです。(下川原 圭太)

この体験の中で心に残ったことは、かなんが心に残りました。かなん刃で木を削り、つるつるピカピカになってびっくりしました。(佐藤 侑唯)

大工さんは時間をかけて家を直すところが大変だと思いました。釘打ち、ノコギリ、かなん掛けが全部おもしろかったです。(成田 人紀)

ぼくは少しですが、大工さんになってみたいと思いました。釘を打ったりかなんをしたり、ノコギリで木を切ったりしても楽しかったです。ぼくは大人になったら、職業は大工にしようかと思っています。(大瀧 孝太郎)

のこぎりやかなんの使い方を教えていただきありがとうございます。かなんは難しかったです。釘はうまく打てたと思いました。釘を打つのが楽しかったです。(石戸谷 偉月)

かなん掛けや釘打ち、のこぎりなどを体験させていただきありがとうございます。のこぎりは過去に2回くらいやっていますが、なかなかうまくできませんでした。(賀佐 海翔)

このような事業を通じて、子どもたちが勤労観や職業観を身に付け、社会で自立して働くことができるよう、地域の大人たちが協力して発達の段階に応じたキャリア教育を推進していくことはとても大切なことだと思います。将来、私たちと共に下北地域のモノづくりを支える仲間として活躍してくれることを期待したいと思います。